



JAPAN MONKEY CENTRE

# FAX COVER LETTER

公益財団法人

日本モンキーセンター

赤見 理恵

送信先 報道各位

送信枚数 本紙を含めて 6枚

送信日 2015年 10月 14日

## 動物慰霊祭と 講演会「アマゾン熱帯雨林と新世界ザル」の 開催について

真っ青に澄んだ秋空が心地よい季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか？

さて、10月17日（土）に公益財団法人日本モンキーセンターは創設59周年を迎えます。毎年、創設記念日には、今まで日本モンキーセンターで亡くなったサルたちに感謝し冥福を祈る**動物慰霊祭（通称、サル供養）**を執り行っております。今年は新たに**27種71頭が加わり、6488頭を慰霊**します。

動物慰霊祭には、園内の保安要員を交代しながら全職員が出席します。一般のお客様にもご参列、ご焼香をしていただけます。

また今年は、日本モンキーセンターの元研究員で、日本モンキーセンターアマゾン学術調査隊などでご尽力された伊沢紘生先生に、「**アマゾン熱帯雨林と新世界ザル**」と題してお話いただき講演会も併せて開催いたします。

多くの方にご参列、ご参加いただけますよう、ご案内いただければ幸いです。

## 動物慰霊祭 概要

**日 時** : 2015 年 10 月 17 日 (土) 11:00~

(雨天決行・テントあり)

**場 所** : ビジターセンター裏 動物慰霊碑(猿塚)前

**進 行** : 飼育統括 堀込亮意 (53 歳、勤続 29 年)

**弔辞朗読** : 飼育技術員 中尾汐莉 (25 歳、勤続 6 年)

**読 経** : 犬山善光寺導師

**参列者** : 来園者のみなさま

日本モンキーセンター所長 松沢哲郎

日本モンキーセンター園長 伊谷原一

講演会講師 伊沢紘生

日本モンキーセンター全スタッフ

# 講演会「アマゾン熱帯雨林と新世界ザル」

## 概要

**日 時** : 2015 年 10 月 17 日 (土) 13:00~14:30

**場 所** : ビジターセンター ホール

**主 催** : 公益財団法人日本モンキーセンター

**共 催** : 京都大学 霊長類学・ワイルドライフ  
サイエンス・リーディング大学院

**講 師** : 伊沢紘生先生 (宮城教育大学名誉教授、  
NPO 法人ニホンザルフィールドステーション  
理事長、NGO 宮城のサル調査会会長)

※詳細は別紙の講演会チラシをご覧ください。

## お問い合わせ先

本件に関するお問い合わせは以下へお願いいたします。

〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26  
公益財団法人日本モンキーセンター 学術部  
TEL : 0568-61-2327 FAX : 0568-62-6823 メール : info@j-monkey.jp  
担当 : 学術部 高野、赤見、江藤、新宅、綿貫、早川

# 資料：今年亡くなった動物たち

## ボウシテナガザルのマサコ ♀

- ・ 1994 年 5 月 19 日来園  
横浜市野毛山動物園より
- ・ 2015 年 9 月 4 日慢性腎不全で死亡  
推定年齢 50 歳

マサコはパートナーのドントみと共に、21 年前に来園しました。それから亡くなるまで夫婦仲良く、老後はバックヤードで穏やかに過ごしました。すっかりおばあちゃんになりましたが、亡くなる間際までドントみと並んで食事をしたり、歌いあったり、寄り添って眠ったり、とてもほほえましい姿を見せてくれました。マサコ、長い間ありがとうございます。



## ヤクニホンザルのチーター♂

- ・ 1989 年 4 月 15 日出生  
日本モンキーセンターの  
犬山野猿公苑にて
- ・ 2015 年 1 月 1 日 衰弱で死亡  
25 歳



犬山の栗栖にあった野猿公園で生まれ、モンキーバレイの中では数少ない野猿公園を知るサルでした。とても家族思いで子ザル達に何かあればすぐに駆けつけて守っており、時には飼育員に向かって威嚇してきました。チーターに威嚇された時は常に緊張状態になりヒヤヒヤしましたが、今ではいい思い出です。オスの中では最年長で、長い間群れを守り続けてくれました。25 年間お疲れ様でした。ありがとうございます。

## リスザルのシーフ♂

- ・ 1995 年 10 月 17 日来園  
八重山研究所より
- ・ 2015 年 3 月 19 日 肺炎で死亡

来園してから 20 年近くモンキーセンターで暮らしており、とても長い間リスザルの島のリーダーをつとめてくれました。若いころから隙があればお客様の物を盗もうと目を光らせており、名前の由来（シーフ：泥棒）にもなっていました。

シーフがお客様の近くに現れると、担当者はヒヤヒヤしたものです。それだけに、彼を見ている時間は長く、他個体よりも皆に愛されていました。たくさんの思い出をありがとう。



## ボリビリスザルのハナ ♀

- ・ 1996 年 8 月 24 日来園  
八重山研究所より
- ・ 2015 年 3 月 11 日  
老衰による多臓器不全で死亡

約 20 年前に遠く離れた沖縄(石垣)から、日本モンキーセンターにやってきました。暖かい沖縄に比べると犬山は寒かったことでしょう。晩年は病院暮らしが長く続きましたが、リスザルの島ではピーナッツをもらうため飼育員の後をついて歩く姿がとても思い出に残っています。たくさんの子と孫に恵まれた良きおばあちゃんとして愛されていました。ハナ、今までありがとう。

